

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 庄内厚生館 児童養護施設 山家学園
------	-----------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和4年11月29日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 庄内厚生館 児童養護施設 山家学園	種 別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 伊藤大海	定員（利用人数）24名（21名）
所在地：〒879-5405 由布市庄内町東長宝601番地 TEL：097-582-0451	

④総評

◇評価の高い点

【施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。】

経営をとりまく環境や把握・分析については、法人本部と当該施設が連携して、児童福祉に関する情報等動向把握を行っている。特に、平成28年改正児童福祉法の理念にある「家庭養育原則」、「大分県社会的養育推進計画」の内容を十分理解する取組がされている。法人が位置する地域での特徴や変化については、法人内他部門からの情報も把握が行われ分析がなされている。

【必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている】

法人本部が策定した長期経営計画書内には、職員処遇充実、サービスの質の向上、職員資質向上を示している。この計画を実現するため「3つの柱と10の基本目標」を定め、3つの柱の中に、「集うスタッフの幸せの追及」の柱の基本目標には、多様な働き方の推進、OJT制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する、職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める、業務の生産性を高め、ワーク・ライフバランスを推進する具体的な計画が確立している。より優良な子育てサポート優良企業として、大分県内で4社目の「プラチナくるみん」認定企業なるなど職員の働きやすい環境整備等に積極的・具体的な取組が実施されている。

【養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。】

他の施設や地域・家庭等への移行にあたり、引継ぎ文書を定め、家庭支援専門員、自立支援担当職員を中心に退所後の支援（通信機器での状況把握・アウトリーチ）の取組を行っている。子どもには、退所時に退所後の相談方法についての説明を行

い、その内容を記載した文書を渡している。

【子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。】

ユニットで調理や洗濯等を自分で行うなど退所後の生活に向けたリービングケアの支援を行っている。退所後も家庭支援専門員や自立支援担当職員が、児童アフターケアセンターと連携し、子どもや親の意向をくみ取りながら福祉機関、就労先等と連携し、アフターケアを行っている。

【子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。】

子どもが中心となり各ユニットでホーム会議を行っている。その中で各行事の確認・連絡調整・担当決めなどを話し合っている。そこで自分たちで決めたり、意向を表出できるよう主体性を発揮できる機会につなげている。職員は必要に応じフォローを行っている。

◇改善を求められる点

【養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。】事業計画に基づいた養育・支援を実施するために、基本となる相談・援助技術、接遇等を確認するためのハンドブック等の検討・整備を行うことを期待する。

【子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。】

接遇態度など人的な環境は子どもの心に大きく影響を与えるため、今後更に、権利擁護並びに虐待等の防止に関する取組を期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

公表を受け、より良いサービス提供の実践に努めてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）